

親子聖書日課

NO.1663 2020.8/9-15

名前

[日]人が救われるのは、良い行いをしたからでも、努力したからでもありません。信仰とは、「イエスこそ私の救い主です」と、信じて仰ぐことです。「地の果て(恵みから遠い)の全ての人々」でも、主を仰ぐだけで救われます。主を伝えましょう。

[月]親が子供を抱っこするのは、幼い時だけですが、主は年老いても背負って下さり、全ての重荷を負い、罪と死の滅びから救い出して下さいます。私達の人生は、もう一つの足跡があります。それは主の足跡ですから、安心して委ねましょう。

[火]罪深い人間は、神の裁きによって、跡形もなく、わらのように燃え尽きてしまいます。しかし、この恐ろしい裁きから私達を救い出すために、主は身代わりとられました。主こそ贖い主です。主を信じるなら、朽ちない体に復活するのです。

[水]「これを聞け」とは、よく聞くことでも、納得することでもありません。聴き従うことです。民は主の言葉に聴き従わなかったために、大変な苦しみに遭いました。主は御言葉を通して、「これから起こる新しいことを知らせ」て下さるのです。

[木]「平和は大河のように、恵みは海の波のように」与えられるためには、「主の戒めに耳を傾ける」ことです。それは「主のもとに近づいて、聞く」ことです。礼拝に参加するだけでなく、日々、聖書日課に励むなら、主の声は聞こえてきます。

[金]母の胎にいる時から、主の僕として召されたのは、イスラエルだけではなくありません。私達も主の僕として尊ばれ、力を与えられ、主の御業を成し遂げることができます。「主の救いを地の果てまでもたらす者」として使命を果たしましょう。



[土]自分の思うようにいかないと、主に見捨てられたと思う人がいます。しかし、主は私達を「忘れることは決してない」のです。必ず、苦難から救い出して下さいます。ですから、諦めないで祈りましょう。主はより頼む人を待っておられます。

	聖書	問題	答え
日	イザヤ 45:14-25	地の果ての全ての人々よ、主を仰いで、何を求めるべきですか。	
月	46:1-13	主は私達の老いる日まで、どうして行こうとされますか。	
火	47:1-15	見よ、彼らは何にすぎず、火が彼らを焼き尽くしますか。	
水	48:1-11	主はこれから起こるどんなことを知らせてくださいますか。	
木	48:12-22	主の戒めにどうするなら平和は大河のようになりますか。	
金	49:1-9	主の救いをどこまでも、もたらす者としますか。	
土	49:9-26	主はあなたをどうすることは決してありませんか	
感想と祈りの課題			